

小説

学童保育物語

夕やけのうた

田之口久司(たのぐち・ひさし)

- 1941年 新潟県生まれ
1960年 高校卒業後、長岡市の印刷会社・株式会社三秀社入社
1963年 横浜市の全建総連・戸塚建築職組合書記局へ勤務
その後、青年運動、文学・映画サークルなどに参加
1975年 学童保育運動に参加
つくしんぼうクラブ副会長、事務局長を経て横浜市学童保育連協の常任委員をつとめる
現 在 つくしんぼうクラブ運営委員、文化部長
著 書
1974年 「一本の指」(『生きる原点を見つめて』あけぼの出版)

小説・学童保育物語 一タやけのうた一

1982年11月1日 初版発行 定価1200円
1982年11月20日 2刷発行

著 者 田之口 久 司
発行者 新 保 庄 三

発行所 株式会社 ささら書房

東京都千代田区富士見1-5-12
ネモビル1階
電話 03 (262)7938

©1982

印刷 壮光舎印刷株式会社

田之口久司

学童保育物語

夕やけのうた

ささら書房

攝影
岸本正義













まえがき

この物語は、現在も活動が続いている實在の、ある親子集団の姿をモデルにして創作したものです。

物語の後半は、ほとんど実際にあった出来事をそのままに近い状態で表現することと、こうあってほしいという思いを込めてストーリーを展開させました。それは、実際にあった出来事が物語、あるいは物語以上に私の胸を打ったからです。

この物語に登場してくるそれぞれの人間と、親子のかかわり合いや、生きざまが一人でも多くの人々の心の片隅に、ほんの一瞬でも残れば幸いです。

私自身、この親子集団の関係者の一人として体験してきたことを振り返り、いま、あらためて現代社会の中で、生きて行くことの意味を自分自身にも問いかけてみたいと思います。

この物語に登場する親子集団Ⅱ学童保育は、今まで一般的にあまり知られていない存在でしたが、着実に活動が続けてきたことと、共働き家庭の著しい増加などの社会的背景もあって、近年、

全国的にも次第に注目を集めつつあります。

私は、この実在の親子集団のしたたかな体験と、主人公の揺れ動く青春とのかかわり合いを通じて、私達の日常生活における生き方、考え方を探ってみたいと思います。

受験地獄、校内暴力、非行の低年齢化、子どもの自殺、覚せい剤殺人、億単位の汚職などが人々の心とくらしをむしばんでいるこんにち、私達は、障害者も含めて、これからの社会をどのように生きて行けばいいのか、この親子集団Ⅱ学童保育は、それ自体のあり方も含めて、必死にそのことを問いかけているように思えてなりません。

この物語は、“教育”とか“子育て”という大それたものでなく、一人の主人公が、その青春の中で、さまざまな人間や出来事と出会い、ぶつかり、悩み、傷つきながら、自ら生きる道を模索する姿を描いたものです。

障害児の親として、学童保育関係者の一員として、そんな思いを込めながら、この作品を書きました。

なお、この物語は実話をモデルにしていますが、創作上、出てくる登場人物などはすべて架空のもです。

目次

“特別授業” かわいそうな象	15
“オレ、助けて来る”	20
オレ、バカだから	28
教師から保母へ	32
“お金払いますから”	38
ガクドウホイク	48
おねえちゃん先生	57
もう一つのつくしんぼう	61
“空中にでも建てるか”	69
トチヲ カシテクダサイ	79
つくしんぼうまつり	84
自分で決めること	93
お前 めえ 、きれいになったな	104
卒業	111

茶ぶ台の置手紙	116
二郎の右手	126
学校に行くのイヤだ	132
変なニオイ	138
二郎の父	147
俺のカカアになつてくれるか	156
ない指は、生えてこない	162
手　術	171
おねえちゃん先生がつれて行かれる	176
上野発、特急「とき」十五号	184
まゆみの退所	191
アサガオは大丈夫かな	203
新しい出会い	209
夕やけのうた	218
あとがき	223

小説・学童保育物語

―夕やけのうた―

“特別授業” かわいいそうな象

志村梢は、横浜の短大に通いはじめてから半年余りが過ぎようとしていた。電車で二十分ほどのところに六畳一間のアパートを借りて、授業の合間に家庭教師と、小学生の学習塾でアルバイトをしていた。

今日も、学習塾の主任にさんざん嫌味を言われて夜九時過ぎ、アパートへ帰って来たところだった。アパートの階段を上がりながら、梢はまだ、耳の中に残っている主任のヒステリックな声を聞いていた。

「いいかね、志村さん。ここは戦場なんだ。どうやったら受験戦争に勝ち残れるか、子どもも親も、私達も必死に戦っているんだ。もう二学期も半ばだ。この学院から一人でも多く有名校へ合格してもらわないと、業界の競争にも勝てないんだよ。君のようなアルバイト講師といえども、指導者としてキチンとやってもらわなければ困るんだ。よく考えてみたまえ、子ども達につまらない童話なんか聞かせているヒマはないと思うがね」